

4年に1度のアジア最大規模の工業炉・熱技術、関連機器の展示会
『サーモテック 2017』が2017年7月に開催！
2017年7月19日(水)～21日(金) 東京ビッグサイト 東4ホール



2017年7月19日(水)～21日(金)の3日間、東京ビッグサイト東4ホールにて『サーモテック 2017 第7回国際工業炉・関連機器展』(主催:一般社団法人日本工業炉協会 会長:小林太郎/オーガナイザー:メサゴ・メッセフランクフルト株式会社 代表取締役社長:梶原靖志)が開催されます。

『サーモテック』は、1993年以来4年に1度開催されている、国内唯一かつアジア最大規模の工業炉・熱技術、関連機器の展示会です。第7回目となる今開催では、13カ国から189社・団体(国内:163 海外:26)¹が参加します。前回の開催の成果を受け、19社もの出展者が出展小間を増やし、全体で402小間に到達。出展スペースは、前回よりも早いタイミングで完売しました。

大好評の基調講演・特別講演や大人気の出展者プレゼンテーションも注目

2017年は、「環境・熱・未来 ～ようこそ、熱技術の^{みらい}明日へ～」をテーマに、工業炉・熱技術の関連機器や装置、システム、サービスなどの出展製品や、セミナー、プレゼンテーションなどの人気企画を通じ、熱技術の新たな可能性を提案します。本展示会で毎回大きく注目される基調講演には今回、講師に東京工業大学 特命教授・名誉教授 工学博士の柏木 孝夫氏を招き、「エネルギー政策の観点から見た我が国のサーマルビジョン」と題して実施します。エネルギー分野の権威である柏木氏による、未来へ向けた熱利用への考察は必聴です。また、新日鐵住金株式会社 執行役員 技術開発本部 プロセス研究所長 村上 英樹氏により、「鉄と鉄鋼業の環境対応能力」と題した特別講演も開催され、新日鐵住金株式会社の事例などを通じ、鉄鋼業における環境負荷低減の取り組みが発表されます。その他、毎回絶大な人気を誇る出展者プレゼンテーションのプログラムも連日予定されています。

【セミナー情報】

◆基調講演 (聴講無料・要事前登録)

「エネルギー政策の観点から見た我が国のサーマルビジョン」

講師: 東京工業大学 特命教授・名誉教授 工学博士 柏木 孝夫氏

開催日時: 7月19日(水) 10:40～12:10

※10:30より、一般社団法人 日本工業炉協会 会長 小林 太郎が、同会場で主催者挨拶を行います。

¹前回 2013年の出展者実績:12カ国・地域 198社・団体(国内:162 海外:36) 397小間

◆特別講演（聴講無料・要事前登録）

「鉄と鉄鋼業の環境対応能力」

講師： 新日鐵住金株式会社 執行役員 技術開発本部 プロセス研究所長 村上 英樹氏

開催日時： 7月20日（木） 10:30-12:00

基調講演／特別講演の受講申込みや出展者プレゼンテーションのプログラム詳細は、
公式ウェブサイト(www.thermotec-expo.com)をご参照ください。

好評につき産学連携・交流の場「アカデミックコーナー」を引き続き設置

研究開発とビジネスを結びつける産学連携・交流の場として前回大好評だった「アカデミックコーナー」を、今回開催でも同規模で設置します。今回も日本全国から研究機関や大学が集まり、工業炉に関連する最先端技術や研究成果が発表されます。また、同エリアでは「アカデミックプレゼンテーション」が、サーモテックの開催中に毎日実施されます。20分間に各団体・組織よりそれぞれの研究が発表され、集中的に最新技術情報を入手できるチャンスです。

熱処理技術や工業炉関連の相談コーナーも準備

熱処理相談コーナーが、今回開催でも設置されます（小間番号：B07）。一般社団法人日本熱処理技術協会と日本金属熱処理工業会が、熱処理技術の最新動向を紹介するほか、会期中の3日間、11:00-13:00／14:00-16:00に相談員が来場者からの熱処理に関する様々な相談を受け付けます。その他にも、一般社団法人日本工業炉協会が主催者特別コーナーを設け（小間番号：B09）、当協会発行の書籍販売、工業炉や当協会事業に関する質問を受け付けます。

『サーモテック 2017』は、工業炉や関連機器のメーカー、ユーザー、研究者が、活発な情報交換を行うビジネスプラットフォームとしてさらに充実した内容で開催します。

開催概要

- ◆名称： [和文表記] サーモテック 2017 第7回国際工業炉・関連機器展
[英文表記] Thermotec 2017 The 7th Quadrennial International Exhibition on Industrial Furnace, Thermal Technology, Equipment and Material
- ◆会期： 2017年7月19日（水）-21日（金）
- ◆会場： 東京ビッグサイト 東4ホール
- ◆主催： 一般社団法人日本工業炉協会／オーガナイザー：メサゴ・メッセフランクフルト株式会社
- ◆出展対象：各種工業炉／環境関連設備／省エネルギー関連設備・技術、リサイクル関連設備／燃焼機器、発熱体／耐火物、耐熱鋼／計測・制御機器、搬送装置／表面加工処理技術、機器／遠赤外線関連機器／電熱関連機器、発電・電源装置、熱・熱流解析機器／ボイラー・暖房機器／各種熱・冷熱関連機器、応用機器、冷熱技術、サービス／廃棄物関連設備、技術／IT関連／エネルギー供給機器（油・ガス・電力）／各種研究機関・大学／その他関連製品・サービスなど
- ◆来場対象：鉄鋼、非鉄金属、鋳鍛造、熱処理、窯業／輸送機器、半導体、機会、化学／環境関連／廃棄物処理関連／エネルギー供給関連／食品・塗装・製材・薬品等熱利用／電気・電子／大学研究機関／官庁、地方自治体／大学、高専、高校など
- ◆入場料： 1,000円（Web事前登録者、招待状持参者は無料）

報道関係者からのお問合せ先

メサゴ・メッセフランクフルト株式会社

PR担当：北島／柏木

Tel. 03-3262-8453 Fax. 03-3262-8442

E-mail. press@japan.messefrankfurt.com Web. www.jp.messefrankfurt.com

メッセフランクフルト社について

メッセフランクフルトは、自社で国際見本市会場を保有する、世界でも有数の見本市主催会社です。売上高は6億4,000万ユーロを上回ります。世界中に30の拠点をもち、全体で2,400人の従業員が働くメッセフランクフルトは、グループのネットワークを活かして各国間で連携を取りながら、各地で産業を牽引する見本市を開催しています。近年ではデジタル事業も強化しているほか、会場の貸出から、施工、マーケティング、スタッフサービスやケータリングまで、多角的に顧客企業のビジネスをサポートしています。メッセフランクフルトは、ドイツ・フランクフルトに本社を置き、同社株の60%をフランクフルト市、40%をヘッセン州が保有しています。詳細情報は www.messefrankfurt.com をご覧ください。